

新入生の皆さんへ

図書館長 久重 忠夫

新入生の皆さん、入学おめでとう！

皆さんの専修大学初体験は、武道館での入学式の前に、専修大学フィルハーモニー管弦楽団の伴奏による、「宮城の北 枢地に立ちて」で始まる「専修大学校歌」の練習でしょうか。

この校歌は大正15年発表の作品ですから、「済世の道」とか「経綸の策」などという耳慣れない歌詞に悩まされたことでしょう。ここでその注釈を試みることはしません。皆さんはぜひ図書館でこれらの言葉を国語辞典や漢和辞典で調べてみて下さい。

校歌とは皆さんが大学という運命共同体の一員であることを確認するためのものでしょう。これからもゼミやサークルのコンパ、スポーツの応援で声をそろえて歌う場合もあるでしょう。卒業式にはもちろん。校歌は自分たちの青春の証として、一生皆さんとともにあるものです。それだからこそ、育友会は校歌のCDを皆さん一人一人にお渡し下さっているのだと思います。

荘重なメロディー、校名を連呼することのない奥ゆかしい歌詞のこの校歌は、数ある大学校歌の中でも名曲の一つでしょうが、この校歌を作った人たちのことを、百科事典で調べてみましょう。歌詞は、「兎追いしかの山」で誰でも知っている「故郷」、「春の小川」「春が来た」「朧月夜」などの歌（いくつかはこどもの時に聞いたでしょうね）を作った高野辰之（1876～1947）。曲は戦いのために散った人々への鎮魂歌「海行かば」（詞は万葉集中の大伴家持）で知られる信時潔（1887～1965）東京音楽学校（後の東京芸術大学）教授、という当時、最高の作詞家作曲家によるものでした。

高校までの学習で、国語辞書や百科事典が「知る」ことの基本であることは十分理解して

いるでしょうが、大学という知の訓練の場では、このように辞書事典そして様々な図書を使いこなすということが皆さんにとって不可欠な活動になります。

その「知」の不可欠な道具を備えている場こそ図書館ですが、一昨年1998年4月に9号館（120年記念館）内に開館した私たちの図書館は、現在所蔵図書約80万冊、神田分館の30万冊と合わせて約110万冊の図書がゆったりとした空間の中で、皆さんの利用を待っています。

本館ではまた、芸術環境に乏しい山の上で、DVDやVTRなどの映像作品を、またCDで音楽を、勉強の余暇に楽しむことが出来るでしょう。

さらに来年4月には学部学生中心の学習や教養のための図書館が、以前図書館本館であった建物を改修して、生田分館として開館されます。

研究を深める一般書・専門書は9号館本館にそろえられていますが、生田分館では、本館で集められていない最新の文学書とか評判の高い書物の文庫本や、新しい知識を一般の人に紹介する新書本を可能な限り集めて、皆さんを「知の世界・芸術の世界」に導く親しみ易い入門の図書館として誕生します。この分館の基本コンセプトは自由な創造的活動へと皆さんを誘う「21世紀の学生のための感性的知的遊戯空間」というものです。

この二つの異なったタイプの図書館を使いこなすことこそ、大学という「知」の場に入った皆さんの「仕事」なのです。皆さんが毎日1回は図書館に来られることを図書館長として心から願っています。

（ひさしげ ただお：文学部教授）

..... た・だ・い・ま・展・示・中

本 館

爆発する芸術へ

—岡本太郎にながれる血—

「芸術は爆発だ！」という流行語を生んだ芸術家・岡本太郎。彼の作品には、われわれが今まで見慣れてきた色や形といったものを超越する圧倒的な生命力にあふれ、単なる「きれいな」「うまい」「こちよい」ものを否定した独自の美が追求されています。この芸術に対する姿勢には、漫画家の父と、歌人であり小説家の母のいきざまが少なからず影響していると思われます。父・岡本一平は江戸っ子気質でマスコミの人気者、母・かの子は芸術至上主義者で家事や育児にはまったく無頓着であったといわれています。岡本太郎や一平・かの子の著作物からは、「芸術」の持つ力強さ、すごさが感じられることでしょう。芸術とは何か、「生きる」ということはどういうことか、考えてみてください。

展示場所：図書館3階・4階

展示期間：4月1日～5月31日

《主な展示資料》

1. 岡本太郎著作集 第1～9巻 講談社 1979～1980 [K708/O42]
2. 岡本太郎 平凡社 1979 [L721/O42]
3. 多面体・岡本太郎 — 咲笑するダイナミズム — 川崎市岡本太郎美術館 1999 [708/O42]
4. 世界の仮面と神像 岡本太郎、泉靖一、梅棹忠夫共編 朝日新聞社 1970 [702/Se22]
5. 迷宮幻想 岡本太郎編 日本ブリタニカ 1980 (遊びの百科全書 10) [K790/A93]
6. 一平全集 岡本一平著 増補 第1～15巻 大空社 [726/O42]
7. 岡本かの子全集 第1～15巻 冬樹社 1974～1977 [918.6/O42]

（生田校舎のとなりの生田緑地には、川崎市岡本太郎美術館があります。）

神田分館

地方自治法

—法律の生誕祭 第3回—

「法律の生誕」をテーマに、その月に公布・施行された法律とそれに関する資料を紹介するシリーズの第3回です。

地方自治法は、1947年4月17日に公布、同年5月3日に施行されました。それまでの地方制度が改められ、団体自治と住民自治が強化されました。しかし、明治以来の中央集権型行政システムは完全には払拭されず、現在まで続いていました。1999年7月16日、いわゆる地方分権一括法が公布され、2000年4月1日より施行されました。これにより地方分権型行政システムへと変革され、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現が期待されます。この機会に住民の一人として地域を見直してみたいかでしょうか。

展示場所：神田分館1階

展示期間：4月1日～4月28日

《主な展示資料》

1. 概説日本の地方自治 阿部齊、新藤宗幸著 東京大学出版会 1997 [318/A12]
2. 史料日本の地方自治 第1～3巻 小早川光郎 [ほか] 編 学陽書房 1999 [318/Sh89]
3. 未完の分権改革 — 霞が関官僚と格闘した1300日 — 西尾勝著 岩波書店 1999 [318/N86]
4. 新地方自治法 兼子仁著 岩波書店 1999 (岩波新書)
5. 現代地方自治法入門 室井力、原野翹編 第3版 法律文化社 1995 [318/G34]
6. 地方分権なんでも質問室 大森弥、神野直彦編著 ぎょうせい 1999 [318/C43]
7. 地方自治法改正のポイント — 地方分権に向けた地方自治法抜本改正 — 川崎政司編 第一法規出版 1999 [318/C43]



利用者の声・ちょっと一言

先輩から新入生へ

余計で滑稽なお世話。

商学部商業学科 居戸智宏

本は、人が誕生してから、永く使われ、重要視され、そして愛されてきたメディアです。未だに多くの人が、描かれているコンテンツだけでなく、本という器をも大切にします。

なぜ、メディアにすぎないものが、かくも永い間、親しまれ尊ばれてきたのでしょうか。それはきっと、人が文字という記号に変換された情報以外のものを、本から感じ取ることができるからでしょう。コンテンツを創造する人達の情熱は勿論のこと、外形を構築する人達の技術を、そしてそれらをデザインする人達の感性を。――表紙をそっと撫でてみてください。

――ページを捲る音を聴いてみてください。

――文字に思いを馳せてみてください。

テスト勉強の時や論文執筆の際には、見ることができなかった景色が広がるかもしれません。

たまには、図書館でいつもとは違った世界を臨む窓を探してみても、いかがでしょうか。

図書館ワンプかみレポート

経済学部経済学科 富樫満広

「図書館の初心者ということを知れない方法」。職員や他の利用者に悟られない為にも是非知っておいてくれ。

それは入館の仕方。これが一番初心者だとわかりやすい。入口が2つあり、学生証のバーコードをかざして入るのだが、なかなか開かない時がある。調査の結果その確率が高いのは右側の入口だ。これを読んだキミは左側を行け。万が一開かなくてもカウンターの方は絶対に見るな。墓穴を掘ることになるぞ。ひたすらかざせ。あと開く時には緑のランプがつくが、まれ

に赤のランプがついて開かないことがある。これでもカウンターは見るな。職員が照れる。力の限りかざせ。

こうして無事に通ることが出来たキミは、もう自信を持って大丈夫だ。正真正銘の『図書館通』だ。しかし、いざとなったら優しい職員が手とり足とり、なんでも教えてくれるゾ。

新入生の皆さんへ

法学部法律学科 鈴木徹也

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

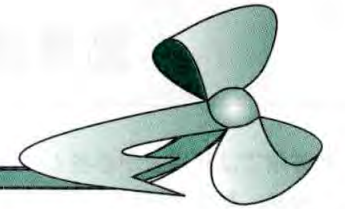
入試直後で勉強にお疲れになった皆さんを先輩面して鞭打つようなことを以下に書き連ねますがご容赦ください。

言うまでもなく大学は学問のための場です。しかし、大学に入ったものの、「授業がつまらない」、「いい先生になかなか会えない」などの理由で、「学問」する権利をあささり放棄してしまう方も多いようです。

私としては、皆さんがこのような陳腐なセリフを言って学問を放棄する前に、まず図書館へ通いつめて乱読することをお勧めします。将来の目標及び専攻を定めて入学してきた方はそれに沿う本を、そうでない方は大学の専攻とは異なっている本を、少しでも自分が興味のある分野での本を乱読してはいかがでしょう。

学問というのは深いものですから、どの分野を学ぶにしても、素地となる「自分なりの考え方」を持ってはじめて関心を抱くものです。その素地を自ら持つための、いわば「取っ掛かり」としては、この方法は大変有効です。是非、これを実行してみてください。最後に一言。この例に限らず、大学時代をより豊かにするには、学生側にもある程度の努力が必要だということを忘れないでください。

新入生を迎えて



図書館Q&A

Q. 生田の図書館を利用したいのですが、入館手続きに必要なものはありますか。また、図書の貸出手続を教えてください。

A. 本学の学生が図書館へ入館する時と図書を借りる時には、学生証が必要(平成9年以前に入学した学生は図書館利用カードも必要)です。学生証の裏面についているバーコードの部分を入館ゲートのガラス面に少し離してかざすと、緑のランプがついてゲートが開いて入館できます。

図書を借りるときは、その図書と学生証を3Fか4Fのカウンターに持って行き、貸出手続を受けてください。カウンター係が機械処理をします(あつという間にできます)。学部学生は、全部で5冊まで貸し出しできて、期間は15日間です。

万が一学生証を忘れてきてしまった日は、カウンターで入館手続きをして入館してください。但し、本の貸し出しができなかったり、施設の利用が制限される場合もあります。学生証は必ず携帯するように気をつけましょう。

Q. 最近の中国におけるタバコと砂糖の消費量を知りたいのですが……。

A. この場合、統計書を使います。中国に関する統計書はいろいろありますが、質問では中国の日用品の消費と限定されています。これが載っている統計書は、中国統計局から出版されている『中国統計年鑑』(C352/C62)です。この統計書は中国語で記載されていますが英語も併記されています。他に国連の『世界統計年鑑』(S350/Se22)では、世界各国の統計を調べることができます。また、総務庁統計局のWeb

Server (<http://www.stat.go.jp/>)にある「世界の統計」は、国連の統計書を原典に作成されておりここからも検索することができます。しかし、これらは各国が出した原著を基礎に翻訳編集していることから、データが遅れていますので最新データが必要な場合は、http://www.census.gov/main/www/stat_int.html (各国統計局一覧)にアクセスしてみてください。他に『中国富力』(S352.2/So32)や『海外経済データ』(S333/G32)では主要経済指標を各国と比較して見るすることができます。

なんだ、かんだの神田

～答申中間報告か～

「ゼミ資料として税制審議会から出ている昭和24年7月11日答申(昭和25年税制改正)を探している」と、学生が言って来た。「税制審議会」というキーワードでの所蔵は確認できないという。国立国会図書館と日本税務研究センターに調査を依頼しながら、大蔵省のホームページにアクセスすると、『昭和財政史―終戦から講和まで―』第18巻 資料(2)のなかに「税制改正に関する中間報告(昭和24年7月12日税制審議会)」があることがわかった。ただ、ここでは12日の中間報告となっている。そんな時、国立国会図書館から回答が届き、「中間報告はあるが答申が見つからない」とのこと。

この中間報告では、敗戦後の日本経済の再建を目指してこれまでの税制の問題が指摘され、税制改革の基本方向が述べられている。こののちシャウブ勧告があり、税制改正が閣議決定される。中間報告の前日に答申があるとは考えにくい。学生に「本当に11日の答申かを先生に確認してみてください」と、回答を渡して2、3日すると「12日の中間報告でいいそうです」。

シャウブ勧告により、答申の意義がなくなった、ということらしい。

図書資料の購入希望について

図書館では利用者が必要とする図書資料（図書、雑誌、視聴覚資料）を購入し、利用に供しています。利用者が推薦する図書資料の受け付けも行っています。図書館に備えたい図書資料がある場合には、「専修大学図書館図書購入基本カード」に必要事項（下記参照）を記入して、提出してください。カードはカウンターにあります。図書資料の購入希望があったときは図書館で購入の是非を検討し、**学生の購入希望については図書館内の掲示で結果をお知らせします。**

専修大学図書館図書購入基本カードの提出方法

教員：各学部、教養教務委員会から選出されている図書館委員の承認印を受けてください。カードのコメント欄に「連絡希望」と記入していただくと、図書資料が入ったときに連絡します。

学生：必要事項を記入して図書館カウンターに直接提出してください。記入の仕方からわからないときは遠慮なく係員に聞いてください。

記入事項

*1 提出日

*2 教員：所属学部名
学生：学籍番号

*3 氏名

*4-7 間違いのないように記入してください。叢書名、シリーズ名があるときは、6に記入してください。

*8 図書の場合はISBN（国際標準図書番号）、雑誌の場合はISSN（国際標準逐次刊行物番号）を記入していただくと、発注受入処理がよりスムーズにできます。ISBN、ISSNは図書のカバーや雑誌の表紙、パンフレットなどに記載されています。

*9-10 発注受入処理の参考とするため、なるべく記入してください。

*11 教員：図書館委員に提出し、承認印を受けてください。
学生：委員承認は不要です。直接図書館カウンターに提出してください。

推薦者は太線内に記入してください。
著者欄は姓・名の順に記入してください。

年	月	日	著者	*4
所属	学籍番号	氏名	書名	*5
氏名	氏名	氏名	シリーズ名	*6
氏名	氏名	氏名	出版社	*7
氏名	氏名	氏名	出版年	*9
委員承認	ISBN	ISSN	*8	定価
委員承認	設定区分	1. 生 2. 神 和洋区分	1. 和 2. 洋	購入価格
単巻区分	1. 単 2. 雑 3. 複	発注受入先	人	受
予算区分	コメント	力	付	

10768207

専修大学図書館図書購入基本カード

ここに気をつけて！

●図書館での所蔵は？

OPAC（オンライン閲覧用目録）などで、**図書館では所蔵していないことを確認してから、購入基本カードを提出してください。**

●いつ利用できる？

購入希望を受け付けてから閲覧できるまでの期間は図書資料の種類によって異なりますが、和書であればおおむね1ヶ月程度、洋書は数ヶ月で利用できるようになります。

●雑誌について

和雑誌は年2回、洋雑誌は年1回の申込締切日があります。本年度の申込締切日と購入開始時期は次のようになっています。

	申込締切日	購入開始時期
和雑誌	2000年6月末日 2000年11月末日	2000年8月 2001年1月
洋雑誌	2000年6月末日	2001年1月

としょかん

インフォメーション

図書を移動しました〈本館〉

生田校舎の本館では春期休暇中に一部の蔵書の配架場所を次のように移動しました。

- * 中国語図書（M3階書庫ブルー区画から2階書庫ピンク区画に移動）
- * 朝鮮語図書（M3階書庫ブルー区画から2階書庫ピンク区画に移動）
- * ロシア語図書（2階書庫イエロー区画内で移動）
- * 有価証券報告書総覧（4階第2開架閲覧室に昭和61年分から平成9年分までを配架）

図書館ツアー（新入生対象）〈本館〉

図書館内をまわりながら図書館員が施設の案内、利用方法の説明をします。

日 時：4月12日（水）～14日（金）

①10：40～11：20

②14：40～15：20

③16：10～16：50

申込方法：図書館ツアーを開始する時間に図書館入口付近に来てください。

OPAC講習会〈本館〉

本学図書館の所蔵資料を検索するOPAC（Online Public Access Catalog：オンライン閲覧用目録）の使い方を初心者向けに講習します。

日 時：4月17日（月）～19日（水）

①10：40～11：10

②14：40～15：10

申込方法：事前に図書館カウンターに申し込んでください。申込者多数の場合は先着順です。

図書館ツアー・OPAC講習会〈神田分館〉

図書館案内と同時にOPAC講習会も行ないます。

日 時：4月12日（水）～13日（木）

16：10～17：00

申込方法：事前に図書館カウンターに申し込んでください。

情報検索講習会〈本館〉〈神田分館〉

図書館の情報検索コーナーでは、オンライン、CD-ROM形態のデータベースが利用できます。レポート・卒論準備のための資料集めに役立つこれらのデータベースの使い方を講習します。

〈本館〉

日 時：6月5日（月）～9日（金）

10：40～11：30

6月12日（月）～16日（金）

14：40～15：30

〈神田分館〉

日 時：5月15日（月）～17日（水）、19日（金）、

24日（水）～25日（木）

14：40～15：40

申込方法：事前にそれぞれの館のカウンターに申し込んでください

図書館業務日誌

1月～3月

展 示

〔神田分館〕
1月8日～1月31日：法律の生誕祭（第2回）
禁酒法

主な見学

〔本館〕
1月22日：専修大学北上高等学校生徒
2月14日：サモラノ大学（ホンデュラス共和国）学長
2月14日：日仏会館フランス学長
3月2日：獨協大学図書館
3月24日：オープンキャンパス
3月25日：国際交流OB・OG会

整 理

〔本館〕
1月25日：洋雑誌の所蔵情報週及入力終了

会 議

3月7日：平成11年度第5回図書館委員会
①教職課程協議会選出図書館委員の増員に係る平成12年度予算について
②図書館生田分館備え付け資料（指定図書）について
③平成12年度私立大学等研究設備整備費等補助金の候補資料について
④図書館神田分館の開館時間の延長について
⑤その他

春期休暇関係

1月25日～3月27日：春期特別貸出
2月1日～3月31日：春期休暇

平成 12 年度 開館日程表

日程			本館	神田分館
前期授業 (平常時)	4/1 - 7/27	月～金 土	9:00-19:00 9:00-18:00	9:00-22:00 9:00-22:00
入学式 ※	4/5		休館	休館
特別研修週間	4/29 - 5/5		休館	休館
黒門祭	6 月予定		平常時と同じ	平常時と同じ
夏期休暇	7/28 - 9/16	月～金 土	10:00-16:00 休館	10:00-19:30 休館
夏期一斉休暇 ※	8/14-8/18 8/28-9/1	月～金	休館	休館
後期授業 (平常時)	9/18-12/22 1/9 - 1/31 2/22 - 3/1	月～金 土	9:00-19:00 9:00-18:00	9:00-22:00 9:00-22:00
神田鳳祭 (二部)	10 月予定		平常時と同じ	平常時と同じ
体育祭	10 月予定		休館 (中止の場合は 平常時と同じ)	17:00-22:00 (中止の 場合は平常時と同じ)
大学記念日 ※	10/30		休館	休館
鳳祭	11 月予定		平常時と同じ	平常時と同じ
冬期休暇 ※	12/25 - 1/8		休館	休館
大学入試センター 試験日	1/20	土	休館	平常時と同じ
春期休暇	2/1 - 3/31	月～金 土	9:00-17:00 9:00-12:00	9:00-19:30 9:00-14:30
一般入試日 (一部)	2 月予定		休館	休館
追試験日	2/22 - 3/1		平常時と同じ	9:00-22:00
一般入試日 (二部)	3 月予定	土	9:00-12:00	休館
卒業式 ※	3/22		休館	休館
日曜・祝祭日 ※			休館	休館

注 1) 休館日および開館時間は、都合により変更することがあります。

注 2) ※印は図書館利用規程による休館日です。

開館時間の変更 (神田分館)

神田分館の通常期の開館時間が 4 月 1 日から
30分延長されました。

開館時間：9 時～22 時 (月～土)

特別研修週間

4 月 29 日から 5 月 5 日までの特別研修週間は、
本館、神田分館とも休館します。

専修大学図書館だより 第40号

発行日：2000年 4 月 1 日

編集・発行：専修大学図書館

館長 久重 忠夫

専修大学図書館

神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

〒214-8580 Tel. 044-911-1274(直)

専修大学図書館神田分館

東京都千代田区神田神保町 3-8

〒101-8425 Tel. 03-3265-8339(直)

URL: <http://www.senshu-u.ac.jp/>

(専修大学トップページ)